

氏名 永野 健二郎

所属：鹿児島県動物愛護センター

入庁年：2014年入庁

鹿児島県 鹿児島市出身



職歴

- 2012- 小動物病院勤務
- 2014- 入庁・知覧食肉衛生検査所
- 2017- 屋久島保健所
- 2020- 阿久根食肉衛生検査所
- 2022- 県庁生活衛生課
- 2025- 動物愛護センター

01現在の仕事内容



動物愛護センターにおいて、犬や猫の譲渡推進や適正飼養の普及啓発に取り組んでいます。保健所で保護された犬や猫を里親の方へ繋ぐとともに、保護される動物を減らすため、動物愛護教室やセミナーなどのイベントを開催し、命の大切さを伝えています。

02鹿児島県に入庁した理由



牛肉が好きで、食肉の安全を支える公衆衛生の仕事に関心を持ちました。また、鹿児島県が有数の畜産県であることや、仕事と私生活の両立がしやすい点にも魅力を感じ、入庁しました。

03現在の業務の魅力



現在は動物愛護センターで勤務しており、食肉衛生分野とは異なりますが、保護犬や保護猫と触れ合いながら、里親の方へ繋ぐことで命を守る仕事にやりがいを感じています。診療業務を通じて動物の健康を守れる点も魅力です。また、動物がセンターに来る背景には人の不適正飼養があることから、普及啓発を通じて保護犬猫を減らし、命を救える点にも大きな意義を感じています。一方で、テレビやラジオの取材など人前で話す機会も多く、毎回少し変な汗をかきながら頑張っています。



04とある1日の過ごし方



出勤

来客等対応

動物愛護教室

事務対応

退庁

犬の散歩

- ・譲渡希望者への対応など
- ・犬猫の診療

昼休憩

- ・小学校で犬猫の適性飼養啓発
- ・ふれあい体験

- ・事務処理、問合せなど対応
- ・SNSでの情報発信

- ・家族で団らん

08:30

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:15

05 仕事でやりがいを感じることに



センターでは、保健所から保護された犬や猫を受け入れ、譲渡につなげていますが、中には病气や怪我をしている子や、人を怖がってしまう子もいます。そうした子に治療や馴化（人慣れ）訓練を行い、健康を取り戻し、人に慣れていく姿を見ることにやりがいを感じています。

そして、1頭1頭を里親の方へ繋ぎ、その子たちの背中を送り出す瞬間はとても嬉しく思います。（実際にはケージの中なので背中は見えないのですが...）

06 仕事できつかったこと・苦勞したこと



私たちは、犬や猫の適正飼養の啓発をととても大切にしています。最後まで責任をもって飼う「終生飼養」や、望まれない命を増やさないための「避妊・去勢手術」について、県民の皆さんにお伝えしています。一方で、なかなか理解いただけない場合や、時には反発を受けることもあります。それでも、そうした方々も含めて丁寧に伝えていくことが重要だと考えています。その一步一步の積み重ねが、保護犬・保護猫ゼロにつながると信じています。

07 仕事でびっくりしたこと・印象に残っていること



センターに、高齢のM.ダックスの「モモ」がやってきました。道路を徘徊していたところを保護され、飼い主が見つからなかった子です。当初は元気に過ごしていましたが、お腹に腫瘍が見つかりました。鹿児島大学の協力により摘出手術を行ったものの、悪性腫瘍で余命はわずかと診断されました。そんな中、「モモを迎えたい。」と言ってくださる里親さんが現れました。看取りになる可能性が高いことをお伝えしましたが、それでも構わないと引き取ってくださいました。

その約1か月後、里親さんがセンターを訪れ、モモが亡くなったこと、後について回りながらたくさん甘えてくれたことを教えてくださいました。その話を聞き、悲しさと同時に嬉しさも込み上げ、職員みんなで涙したことが強く印象に残っています。そして何より、モモを温かく迎えてくださった里親さんに、心から感謝しています。



08 鹿児島県庁の好きなところ



さまざまな職場で多様な経験ができるところが魅力です。食肉衛生検査所では牛肉や豚肉の検査、県庁の生活衛生課では関係機関との連絡などの事務業務、保健所では飲食店の営業許可など、それぞれの現場で多くの経験を積んできました。また、鹿児島県には獣医師の先輩職員が多く、相談しやすい環境も魅力です。業務の中で大変なこともありましたが、先輩や同僚に支えられながら乗り越えてきました。振り返ると、どれも貴重で楽しい経験だったと感じています。

09 仕事終わりや休日の過ごし方



休日などは、基本的に一番下の息子と一緒に、マイホームでのんびり過ごします。子供と遊びつつ、読書やゲームを楽しむことが多いです。とはいえ、家に引き籠ってばかりは良くないので、近所の公園や買い物にも出掛けています。

左の写真は近所の恐竜展に行った時のもの。もう1枚は屋久島保健所勤務時に有休を使って、川遊びをしたときのものです。気分は観光です。離島での生活は、当初あまり気が進みませんでした。実際に暮らすととても楽しく、今ではまた戻りたいと思うほどです。

